



広報

さざんか

介護老人保健施設さざんか 浜田市金城町七条八403
TEL:0855-42-2200 FAX:0855-42-2211

介護老人保健施設の看護師の役割 〜コロナ禍を経験して〜



R4年10月21日入職
看護師長

白井かおり

介護老人保健施設とは、介護を必要とする利用者様に対し、リハビリや介護、看護ケアといった各サービスを行い、利用者様の在宅支援・在宅復帰を援助する施設です。入院からの退院直後ですぐに自宅での自立した生活が困難な方や、入院する程度ではないが一時的に介護・医療ケアが必要となった方が多く利用されています。

看護師は利用者様の健康管理、服薬管理、医療行為、生活支援、多職種連携、施設の安全・感染管理、看取り等を役割として日常的に業務を行っています。病院勤務の看護師との大きな違いは、多職種が集まり、利用者様のケアを考え技術を出し合って活動しているところです。各専門職は他職種の考えや活動を理解しつつ特性を發揮していく、この積み重ねが老健らしさであり、質を上げる取り組みだと考えています。

昨年は新型コロナウイルスのクラスターが発生

しました。その時の看護業務は、職員の欠員に加え連日のPCR検査やゾーニング、利用者様の健康管理、搬送等の業務で過酷な状況になり、対応することの大変さや葛藤、課題、感染対策の難しさを感じました。日々の環境整備から利用者様との関わりまで様々な事に気を配りながら、大変な中でもより良くしようと多職種と協調することで終息に向かい乗り切ることができました。

利用者様を中心に、医師・看護・介護・リハビリ・ケアマネジャー・管理栄養士・薬剤師・相談員・事務が一つのチームとなり、ケアできるのが介護老人保健施設の強みです。何が欠けてもチームケアはできません。境界領域の業務に対してお互いが思いやり、譲り合い、助け合う「多職種協働」でスタッフを大切に、新たな仲間を増やし、おもてなしの心を持って、利用者様の尊厳や生活を支える看護の提供、質の高いケア、サービスの向上に努め地域の皆様のお役に立てるよう精一杯やっていきたいと思えます。

